

小学生が技研などを訪問

道路建設業への関心深める

大成ロテック



大成ロテックは3日、埼玉県鴻巣市の技術研究所と機械技術センターに鴻巣市立常光小学校3年

生の児童3人と保護者2人を受け入れ、舗装技術の体験学習を行った。写真。同校が行っている総合学習「ふるさと探検隊」の一環として行われたもので、同社は毎年児童らを受け入れている。

体験学習では、ポースアスファルト舗装にじょうろで散水して水が浸透するのを体験したり、東京五輪のマラソンコー

スに使用される予定の遮熱性舗装を触ったり、停車中の重機の運転席に座り施工機械の大きさを体感した。児童から「なぜ鴻巣に機械センターがあるの?」「アスファルトは何からできているの?」等の好奇心に満ちた質問があり、職員の回答に熱心にメモを取るなどしていた。

同社は、長年地域社会への貢献活動を行っており、今後も積極的に地域貢献を行い、道路建設業への関心を深めてもらいたいとしている。